子供から始まる学級経営・集団づくり
～豊橋市立飯村（いむれ）小学校の実践から～

温かな居場所をつくる学級経営

よりよい生活や人間関係を築く学級活動

＜切実感をもたせるための課題の見付け方＞

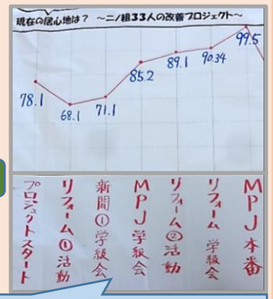
◆生活の中から　◆子供の記録から　◆アンケートから

＜友達の意見を受け入れ、考えを構築する話合い＞

グループで　出し合う　探る　比べ合う　全体で

◆温かい雰囲気が基盤

◆課題の要因を視点とした話合い



＜活動と成果をつなぐ評価＞

◆**評価や成長を可視化**
活動後、目指す学級の姿に迫れたかを数値化して提示（右写真）

◆**活動後の学級会を工夫**
活動中に、個人では気付けなかった成長や課題に着目

ＭＰＪ……修学旅行に行けなかった児童のためのお楽しみ会
リフォーム…よりよい環境にするための教室のリフォーム

一人一人を主役にする場づくり

＜友達の話を聞きたくなる「お話タイム」＞

◆支える教師
・テーマを練る。
・板書を工夫する。
・補助発問で、思いや考えを引き出す。
・うなずいて聞く。

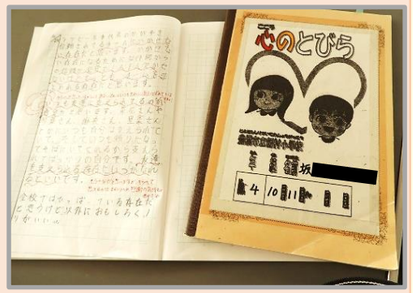
◆目指す話合いの姿
○楽しみの場に
○友達理解の場に
○思いや考えを伝え合う力を磨く場に

＜よさを認め合う「粋ないむれっ子」＞

◆生活の中で見付けたよい姿を紹介し、認め合う場
◆１日の振り返りができる「帰りの会」の時間を利用

＜自分の歩みを見つめる「心のとびら」＞　（下写真）

◆行事・道徳・学級活動等の振り返りで活用
◆成長をつなぐ（６年間の振り返りが可能）
◆一人一人が成長を自覚できる朱書き



絆が深まり個が生きる集団づくり

個の可能性を広げる「学級以外の集団活動」

＜かかわりを意図的に組む交流の場＞

○「飯村サミット」（全校をリードする委員長・学級委員）
自主的な児童集会やキャンペーン活動
○「なかよしタイム」「ふれあい遠足」等
（新たな気付きの発見）
異学年交流の活動とともに、その様子を掲示
○「かかわりの木」（全校による認め合い）下写真
全校児童の関わりを生む掲示の工夫

ポイント１
学年に関係なく、他の児童のよい点を葉に書き、「かかわりの木」に取り付ける。自分の名前を見付けた子は、「心のとびら」に貼る。

集団に欠かせない共生のため知恵「飯村しぐさ」

＜飯村しぐさの例＞　※H23に10か条を作成

第一条　あいさつにはあいさつ
第二条　五・三の時（５分前行動、３分前着席）
第三条　「環境整美」人
⋮
第六条　気くばりなかよしぐさ
第七条　アミーゴしぐさ（H30に改訂）

ポイント２
子供の主体性を大切にし、子供と職員で作成した。その後も外国籍児童の増加等の実態に応じて、内容を見直している。

愛される子供を育む「地域交流」

＜地域交流の具体例＞

１年「昔遊びの会」：地域のお年寄り、風船おじさん
２年「校区探検」：保護者、地域の商店や農家
３年「飯村サツマイモの秘密」：農家のスペシャリスト
４年「岩屋緑地を守ろう」：岩屋緑地の会
５年「飯村の昔を知ろう」：自治会長、地域の歴史家
６年「みんなアミーゴ」：ブラジルショップ店長、国際交流協会

学級経営の充実と個が生きる集団づくりの在り方

多くの人と関わることができる学校生活は、子供たちにとって小さな社会と言えます。子供たちにとって、学級を安全で安心な場とすることや、学校生活の中で自分を輝かせ、周りの人と協働的に学ぶ経験は、子供たちの共生的に生きる力につながります。

学級経営の充実

学級経営は、授業や生徒指導をはじめとする、学校におけるすべての活動の基盤であり、豊かで安心できる居場所づくりにつながります。

お互いに助け合える学級にしよう。
お互いに挨拶をすることができる学級にしよう。
どんなことでも話し合える学級にしよう。
考えや思いを、話すことができる学級にしよう。
相手の思いを、受け止めることができる学級にしよう。
互いに優しくできる学級にしよう。
困難に負けず、乗り越えていける学級にしよう。

困ったら先生も助けてくれて、安心だね。

共　　生

居場所づくり　友達とつくる楽しい授業　絆（きずな）づくり

話合いのときのＡさんの意見で、活動の方向がはっきりしたよね。

みんなに認められて、自分に自信がもてたよ。

ＢさんやＣさんにアドバイスをもらえたから、がんばることができたんだよ。

僕は、Ａさんのアイデアのよさが、一緒に活動してみて、よく分かったよ。

失敗や悩んだことがあったけど、Ａさんの意見を実現しようと、みんなでがんばってきたことが、心に残っているよ。

またみんなのよさを生かしながら、一緒に活動したいな。

集団づくりは、子供同士が関係を深める中で、自他を肯定的に受け入れる姿勢を身に付けるとともに、自己有用感を味わい、絆（きずな）を深めていくことにつながります。

個が生きる集団づくり

温かな居場所をつくる学級経営

【大切にしたい学級開き】

スタートは児童生徒を知ることから

①日常的な児童生徒理解
②児童生徒の背景までも把握した児童生徒理解
③多面的な児童生徒理解
※詳細は生徒指導リーフNo. ７－１を参照

Aさんの魅力は、周りをよく見ていることなのね。

Bさんの保護者とは、すぐに話をしておこう。

昨年度の様子を知るには、キャリア・パスポートを見るのも有効ね。

Cさんの様子を、部活動の顧問の先生に確認してから、支援を考えていこう。

児童生徒の学級への思いを生む

①子供たちの合意形成による学級目標の設定
②学級目標に迫る歩み方を共有
③学級目標実現に向けた一人一人の役割の明確化

困っているときほど、みんなで助け合える学級にしたいね。

ぼくは、まず気持ちに気付いてあげることをがんばろうかな。

助け合うためには、どんなことも話せる関係づくりが、必要だね。

【視線の先には学級や友達】

学級を見つめ直す子供
児童生徒による検証改善サイクル（ＰＤＣＡ）

■例１【友達のよさを見付けよう】

～朝の会や帰りの会のスピーチで～

笑顔で「話したい・聞かせて・教えて」こんな姿を引き出す

■例２【学級を振り返ろう】

～学級会で～

生活上の諸問題から課題をつかむ

↓

意見の違いを乗り越え、学級の目標と自分の役割を明確にする話合い

↓

実行し、振り返る

ポイント１
話合いで決まったことが、実行できているかどうかを、子供たちに意識させながら、生活できるようにしよう。

常に学級を見つめ直す教師
教師による検証改善サイクル（ＰＤＣＡ）

■例３【学級の状況を可視化しよう】

○アンケートの活用
○Ｑ－Ｕの活用
○他の先生や事務職員からの聴取
○ＳＣやＳＳＷ、保護者等から意見の集約
○子供たちとの振り返り

↓

○グラフに
○レーダーチャートに
○相関図に

↓

○学級の問題や新しい目標が見えてくる

成長し続ける学級にする

ポイント２
学級の「達成力・規律力・安心力・協調力」等を視点に、子供たちにアンケートを行い、結果をグラフ等にまとめてみよう。その推移を基に、子供たちと学級の現状を振り返ってみよう。

学級や友達に目を向ける環境づくり

■例４【学級の成長と個の活躍を掲示に残そう】

4月

＜４月のきらりシーン＞
◆○○を見て、みんながこの１年間でどれだけ成長するのか・・・（△△先生より）
◆月間きらりっ子　○○さん　○○さん

5月

＜５月のきらりシーン＞
◆運動会の練習の中での○○さんの姿を見て、上手になって・・（□□さんより）
◆月間きらりっ子　○○さん　○○さん

■例５【仲間とつながる係活動にしよう】

ポイント３
当番活動との違いを明確にして、学級内に関わりを生み、豊かで、自主的な活動にしよう。

新聞係
今月は○○さんの意見を参考に、みなさんの特技を特集します。
◆ご意見コーナー
生き物特集は、楽しかったです。
フクロウのえさに驚きました。次はスポーツの特集をしてください。

絆（きずな）が深まり個が生きる集団づくり

【集団づくりの流れ】

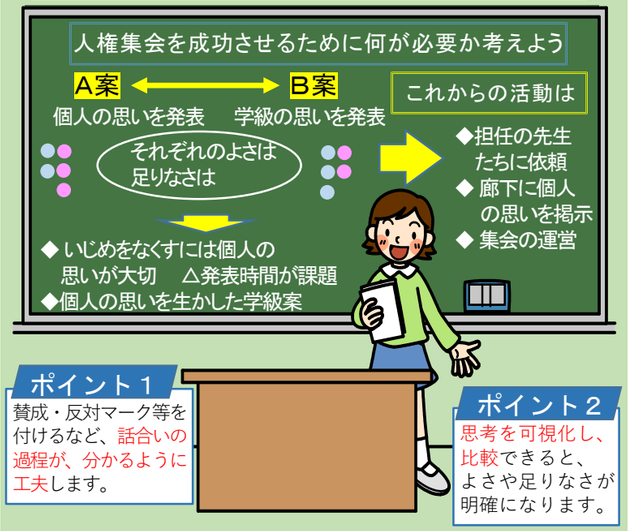
子供が主体となり
集団生活上の諸問題から課題をつかむ

↓

課題を共有し、解決への意欲を高める

↓

解決方法を見付ける話合いを行う



ポイント１
賛成・反対マーク等を付けるなど、話合いの過程が、分かるように工夫します。

ポイント２
思考を可視化し、比較できると、よさや足りなさが明確になります。

話合いで、自分の考えがはっきりしたよ。

自分の考えをもつことができたね。さて次は・・・。

話合いを基に合意形成や意思決定をする

↓

集団で思いや考えを実行する場を設定する

Aさんの「地域の人」に知ってもらうという考えは、とてもすばらしいね。

いじめをなくすぼくたちの取組を、地域の人たちに見守ってもらうことで、みんなの意識も高まるね。

ポイント３
活動時も集団の課題を常に意識できるようにしよう。

【集団づくりのポイント】

ポイント１

◆一人一人の役割と、集団でなら乗り越えることができる課題を明確にする。
集団の中で生かしたい一人一人のよさと、与える役割をつなげたり、児童生徒の課題解決に向けた活動を見通したりするには、日頃の児童生徒の捉えが大切になる。

ポイント２

◆それぞれの活動において、評価の場を設定する。
※意図的に評価の視点を変えることで、個人・他者・集団のよさや、それぞれの成長した姿に気付かせる。

＜評価の視点＞
・自分について
・友達について
・自分と友達について
・集団について

活動の成果と評価をつなぐことが、大切です。

ポイント３

活動母体

◆様々な「活動母体」を組む
様々な集団における活動を充実させることで、立場の違う人の考えや思いに触れることができ、親しみや憧れ、思いやりの心が育ち、新たな個のよさが引き出される。

班活動　学　級　係活動
学　年　委員会

輝く　子供

地域交流　他校種交流
異学年交流　全校集会　学校行事

◆様々な「活動の場」を生かす
それぞれの集団と活動の場の特性を理解し、計画的に活動の場を広げたり、深めたりすることで、個のよさが生かされ、成長を感じることができ、個の輝きが増していく。

活動の場

※学校行事は、教師の指導の下、児童生徒の自主性を引き出します。